

会員近況

素敵な嫁入り 松井延之

寒さが厳しくなってきました。50歳にして持病に成りつづつある五十肩が痛みますますとても勢力的に制作しております。人生を変える出会いなんて言葉があります。2ヶ月前にわたくしにも、そういう出会いがありました。

正確には、何年も前に出会っていたのですが、気が付いておりませんでした。写真のヒゲがダンディーな、カナダ人のような日本人がその方です。福島県南会津に在る管理釣り場、ロストルアーズのオーナーです。私、俗に言う釣りキチでして、フライフィッシング歴30年、釣れない湖として名高い中禅寺湖に年間16日通うほどです。釣り仲間から、レイクトラウト病と言われております。ちなみにレイクトラウトとは、日本では唯一、中禅寺湖のみで繁殖しているイワナに似た鱒です。

そんな私にとつて、禁漁という憂鬱な季節10月から2月に、釣りができるのが管理釣り場(釣り堀)です。釣り堀と言っても、ロストルアーズの虹鱒は、平均で50センチを超えてきます。しかも持ち帰り禁止のため、天然の魚に勝るとも劣らない、美しい魚が住んでいます。



まさに泳ぐ美術品です。通常、魚は食材と考える方が多いのですが、私達が私達にとつて魚は、泳ぐ美術品なのです。くだいようですが、私達です。マニアックな話題が長くなりましたが、2

カ月前にオーナーに絵を趣味で描いてまして、「この美しい虹鱒を描いて寄贈したいんだけど？」と少し勇気を出して言ってみました。見たいとのこと、インターネットで、私のブログ 松井延之 細密油絵の世界」を検索し、「高覧いただきました。家内のスマホで尺上岩魚の絵を見て、感じたものがあったのか、熱烈なオーダーを受けることになりました。ちなみに、わたしがガラ携です。商品化の話になり、Tシャツにするとのこと。まだ、描いていないのですが・・・しかしながら、私の眠りっぱなしの闘志に火が点いたのです。毎日、本業から帰宅した後の残業4時間が楽しくて、1ヶ月で完成し、納品いたしました。通常制作に一年以上かかっていたました。個人的には、二人の表情に、充実感が映っている気がします。実のところ、私の絵は、ブルーシートの中で寂しく眠っている大作が多いのです。嫁入り先を紹介してくださる会員の方、お待ちしております。新たな素敵な出会いを信じ

切り絵とともに 栃木支部 湯澤朱美

サツポロビル那須森のビル園2階で活動しています。年間15万名のお客様が来園されています。きり絵の魅力を広める目的に、学校や公民館等できり絵教室活動や作家様や生徒さんの作品展示会場(最大50坪)の提供(サツポロビルの支援)作家様との交流の場を提供しております。

店舗内教室では、16名様まできり絵やアクリル絵(作家様のご希望で様々な)体験を実施しております。また、レストランとのコラボで食事&きり絵体験コース(50名様位)も開催しております。

私は、仕事のストレス解消法として18歳から独学できり絵を始めました。現在は、那須きり絵生徒様・日光きり絵生徒様・福島県きり絵生徒様・鬼怒川きり絵生徒様の50名と楽しくきり絵活動をしています。私が描いた、きり絵の原画(400種以上)の販売も好評です。きり絵と押し花、ちぎ

り絵、油絵、写真とのアレンジ作品(作品展出品の場合、湯澤朱美原画と明記)としても活用されています。私も、商売では無く趣味の延長と考え楽しんで、明るく、過ごしたいと思えます。また色々なジャンルの作家様との交流で見識が広がり大変勉強になっていきます。



店舗内でもミ作品展(販売も可)を常時開催し、お客様からも様々なご要望があり、地元の作家様もご利用されています。最後に新日美の皆様感謝し、これから

も様々な活動をしたいと存じます。よろしくお願致します。

絵画への思い 小林美恵

子供が成長し一段落したころ長い人生を何かしたいと思いました。子供の頃、絵の先生が「美しいと感じた時、悲しい時、または楽しいとき絵を描く事は心が豊かになり、色や形も自分の気持ちに沿って創れるし、見る人に喜びを与えることもできる」との言葉を思い出して自宅でも描いていました。友人からどこかに出品を勧められ、大胆にも公募展に出品し、日々絵を描くことになりました。

銀座での私の展覧会に一人の男性を伴って来た友人が「あなたがいつも言っているクリムトとブナダリッヒを合わせた様な凄いの絵を描く画家ですよ!」と紹介されました。少しからかわれていると思ひ、その方なら足元に跪きます。という男性は黒い大きなバックから画集を取り出しサインをして、横



絵は見た人を喜ばすといわれますが、描く私も多くの喜びや友達を与えて頂き感謝でいっぱいです。又、新日美の一員に入れて頂き嬉しく、感謝しております。今後も自分のペースで楽しく描きたいと思ひます。ご指導宜しくお願い致します。

浜に私の教室があるからいらつしやいとのこと、驚きと感動で体が固まりました。その後先生の教室に通い、初めころは緊張してモデルを前にしてキャンバスに向かっても描く事ができませんでした。約十年近く無遅刻無欠席で教室に通いました。先生の作品は女性を描き色、形とも大胆です。美と真実を探究し続ける修行者のような様子に触れ深く考えさせられる日々でした。教室の発表会で、の講評時 初めて銀座で見た絵を覚えてるよ、その時と比べるとやっとなツンとしたのが描ける様になったね」との言葉を頂き、これを機に教室を終了することにしました。2000年、南米ブラジルに行く機会があり、毎年3カ月ほど滞在し各地を走り回って楽しみ沢山の友人知人ができました。友人の画家の作品がサンパウロの議事堂に収蔵され展示会に行った際、館長さんに紹介され、私の絵を見たといわれ、日本にありませんと答えると作家なら創りなさいと言われ考え込みました。館長に見ていただけで幸運なことです。調子に乗り何もないホテルで20号に花の絵をアクリルで描き持参しました。アツという間もなく収蔵され新聞に絵と顔写真、館長のコメントが発表され多くの知人から祝福されました。後日、大変なことだったと実感しました。2010年サンパウロ公募展の後、地下鉄ギヤラリーで約一カ月間の個展をさせて頂き、沢山の方々に見ていただき喜ばれました。